



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

ユネスコスクール支援大学間ネット ワーク (ASPUnivNet)

ASPUnivNet運営委員会 委員長

奈良教育大学 及川 幸彦

ASPUnivNetと加盟大学

ASPUnivNetとは

ASPUnivNet（ASP ユニヴネット）は、ユネスコスクールのパートナーとして、ユネスコスクールの活動を支援する大学のネットワークです。

ASPUnivNet創設の経緯

ユネスコスクールの活動は、1953年にASPNet（Associated Schools Project Network）として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するために発足して以来、長い歴史があります。

世界の民間のユネスコ活動の発祥が仙台であったこともあり、2007年仙台的宮城教育大学で行われた「国際理解教育シンポジウム」を契機に、気仙沼市を中心に地域でのASPNetへの加盟申請が一気に増えました。学校教育への大学の協力に加え、申請を大学が支援したことが、推進力となりました。

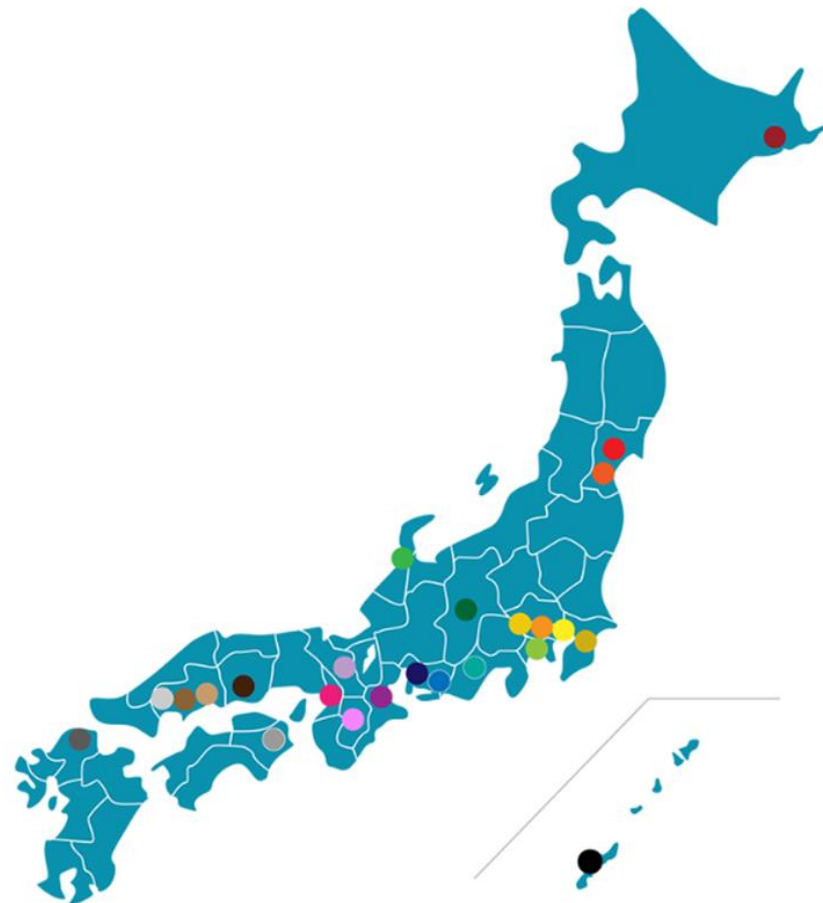
2008年11月には、宮城教育大学にて『ユネスコスクールの集い』が開催され、ユネスコスクールの支援を考える大学の関係者が集まり、大学間ネットワークの設立が提唱されました。

同年12月2日～5日『ESD国際フォーラム2008』（主催：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、国連教育科学文化機関（ユネスコ）、共催：国連大学、財団法人ユネスコ・アジア文化センター、宮城教育大学）が、東京の国連大学で開催され、そこで正式にユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）の発足を内外に示すことになりました。

このときの参加8大学が、現在は24大学となりました。

加盟大学一覧

- 北海道教育大学釧路校
- 東北大学大学院環境科学研究科
- 宮城教育大学
- 創価大学教育学部・教職大学院
- 千葉商科大学
- 玉川大学教育学部
- 成蹊大学
- 東海大学教養学部
- 金沢大学
- 信州大学教育学部
- 静岡大学教育学部
- 愛知教育大学
- 中部大学
- 三重大学
- 京都外国語大学
- 大阪公立大学
- 奈良教育大学
- 岡山大学
- 広島大学教育学部
- 福山市立大学
- 広島市立大学国際学部
- 鳴門教育大学
- 福岡教育大学
- 琉球大学



【ASPUnivNetへの加盟について】

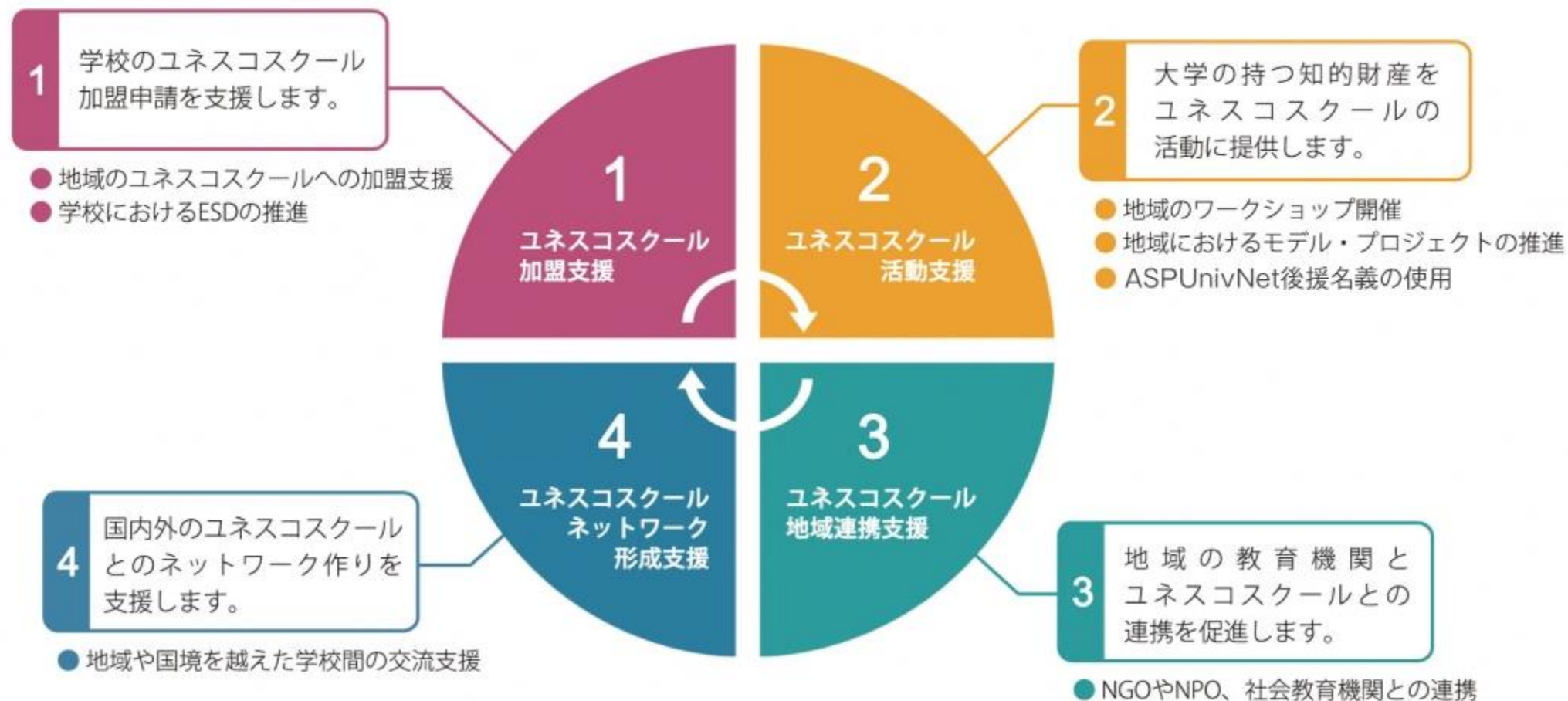
➤ ASPUnivNet新規加盟基準

以下①～③の全ての基準を満たすこととする。

- ① 1年以上オブザーバー参加すること
- ② 大学または学部全体で以下1)及び2)の具体的な実績及び意欲があること
 - 1) ユネスコスクール支援
 - 2) 学内におけるESD活動
- ③ 既存の加盟大学から推薦があること

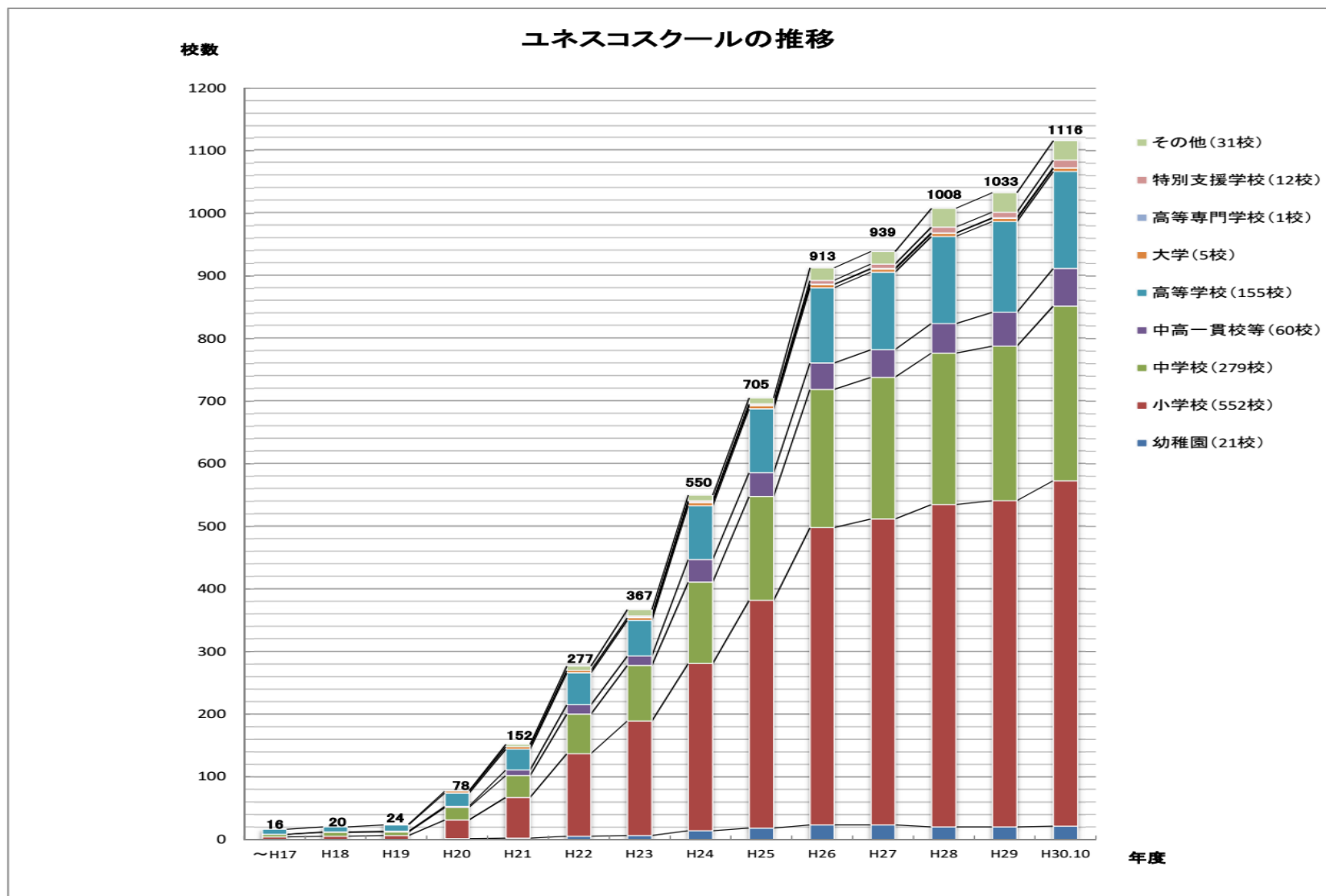


ASPUnivNetの4つの機能





ユネスコスクール加盟校推移



出典:文部科学省



第16回ユネスコスクール全国大会・第1分科会

第1分科会 持続可能なESDの取組のための外部支援の活用に向けて

—ASPUnivNet × ESD 活動支援センター × ESD コンソーシアム等による学校支援の構築—

■ 開催形式

- ハイブリッド（対面会場：国際交流棟 レセプションホール）

■ 運営担当

- ASPUnivNet 運営委員会

■ 登壇者

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| - 奈良教育大学 及川幸彦 | - 大阪府立佐野高等学校 向井小雪 |
| - 創価大学 関田一彦 | - 奈良教育大学ユネスコクラブ |
| - 福岡教育大学 石丸哲史 | 苗代昇妥、木幡美幸、吉岡優来 |
| - 琉球大学 大島順子 | - 練馬区立中村中学校 清水啓子 |
| - 玉川大学 小林亮 | - ESD 活動支援センター 加藤超大 |
| - 東京都立山崎高等学校 町谷光博 | - 北陸 ESD コンソーシアム 池端弘久 |
| - 大阪公立大学 伊井直比呂 | - 日本ユネスコ協会連盟 安田昌則 |

■ 概要

ユネスコスクール等の学校の ESD の更なる実践の質の向上と取組の持続発展を図るために、「ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）」の支援機能を可視化するとともに、ESD 活動支援センターや ESD コンソーシアム、日本ユネスコ協会連盟等の ESD ネットワークとの連携・協働による学校支援の更なる深化と拡充について検討し、ESD のスタートアップ校や推進上の課題を抱える学校、取組のさらなる持続発展をめざす学校など、それぞれの学校の ESD の進捗状況や推進体制に応じた外部支援ネットワークの効果的な活用について展望し、学校を核とした多様な主体による ESD 推進のプラットフォーム構築をめざす。

